

事業報告

<研修名>

令和元年度 第1回 大分県公立図書館等職員研修会（初任者研修）

<開催日時>

令和元年5月20日（月） 10:00～16:00

<会場>

県立図書館 1階 第2・3研修室

<参加人数>

43名

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、体系的に図書館サービスの基礎を学ぶ研修機会を提供することにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

<研修内容>

【講義1】「図書館サービスについて」

講師：県立図書館 サービス課 主幹司書 梅田 潤子

図書館とは何か、図書館に関わる法律、公立図書館に求められる役割など、図書館サービス概論についての講義でした。カウンター業務や複写に関する著作権にも触れました。

【講義2】「児童サービスについて」

講師：県立図書館 サービス課 主幹司書 辻 さやか

児童サービスの基本について、児童図書館員の役割、蔵書構成、環境整備、展示についての講義でした。選書の大切さについても、詳しく説明がありました。

【講義3】「郷土資料について」

講師：県立図書館 サービス課 主任司書 阿部 詠子

レファレンスサービスについての基本的な事項及び郷土資料の収集・保存の意義についての講義でした。県立図書館の整理、保存、情報提供の工夫や資料を劣化させないための取り扱い方についても紹介しました。

【講義4】「市町村図書館における県立図書館活用方法について」

講師：県立図書館 学校・地域支援課 主幹司書 立川 由美

※館内見学実施

貸出サービス、研修など市町村図書館向け事業の説明をした後、書庫や選書室などバックヤードも含めた館内見学を行いました。

<当日の様子（写真）>

【研修風景】



【館内見学】



<参加者感想>

- 丁寧な説明でわかりやすかった。
- 貴重な話が聞けて有意義な研修だった。
- 初めてのことばかりでとても勉強になった。
- 基本的な内容の講義でしたが、意外と知らないことがわかり勉強になった。
- 利用者としては度々訪れていたのですが、図書館職員として改めてバックヤードを見学でき、大変刺激を受けた。